

2008年度第3四半期業績のご報告及び 今後の事業展開について

株式会社ジャレコ・ホールディング

JASDAQ : 7954

2008年11月

目次

1. 2008年度第3四半期概要

- 1-1. 連結PL
- 1-2. セグメント別売上高と営業利益

2. 再建の方針と進捗状況

- 2-1. 金融事業
 - 1. 進捗状況
 - 2. 自社事業
 - 3. レベニューシェア型ASP
- 2-2. 不動産事業
- 2-3. ゲーム事業

3. FXビジネス今後の展開

- 3-1. ブランチ構想、カスタムASP展開
- 3-2. その他構想

1. 2008年度第3四半期概要

1-1. 連結PL

1-2. セグメント別売上高と営業利益

1-1. 連結PL

単位:百万円

	2007年度 12月期	2008年度 第1四半期	2008年度 第2四半期	2008年度 第3四半期	2008年度 累計
売上高	15,100	1,153	2,914	3,243	7,310
営業利益 (損失)	11	△203	△1,349	591	△961
経常利益 (損失)	△409	△215	△1,375	626	△963
当期純利益 (損失)	△6,511	△219	△1,530	311	△1,438

2008年度の主な財務リストラの実施内容

1Q	ハナマサ株式売却完了	特別利益	22,999千円
2Q	ゲーム事業たな卸し資産固定資産の再評価	営業損失 特別損失	107,840千円 195,296千円
2Q	子会社売却（ジェクール）	特別利益	81,169千円
2Q 5 3Q	マンション完売に伴い 分譲マンション事業から撤退完了	営業損失	1,357,681千円
4Q	2008年10月30日 久喜サリアビル売却（後発事象）		

分譲マンション事業終了
不動産事業の出血止まり、好調な金融事業が貢献
当年度の四半期で初の黒字計上

1-2. セグメント別売上高と営業利益

単位:百万円

		2008年度 第1四半期	2008年度 第2四半期	2008年度 第3四半期	2008年度 累計	2008年度 見通し
金融事業	売上高	※ 397	946	1,990	3,333	4,356
	営業利益	※ 30	447	947	1,424	1,961
不動産事業	売上高	524	1,894	1,143	3,561	4,438
	営業利益	△76	△1,415	△188	△1,679	△1,952
ゲーム事業	売上高	231	74	110	415	865
	営業利益	△49	△159	△56	△264	△288
全社共通	売上高	1,153	2,914	3,243	7,310	9,820
	営業利益	△203	△1,349	591	△961	△910

※ 金融事業の第1四半期は、2008年3月1ヶ月のみEMCOM、EMCOM CONSULTING、英科睦軟件技術(大連)有限公司を連結

- 金融事業** — 連続で増収増益
- 不動産事業** — 分譲マンション事業終了 赤字幅縮小
- ゲーム事業** — 「でんじろう先生の不思議な実験室」不調により赤字計上

2008年度第4四半期の事業施策

- **FX事業における継続的な収益計上**
 - 継続的な取引拡大を狙い口座獲得マーケティングを抜本的強化
 - 圧倒的多数のトランザクションを処理するために新システム設計を実施
 - 1Pip固定配信を開始、更なるレート配信力強化を図り、CP接続を多様化
 - 積極的な取引活性化系キャンペーンの徹底投入

- **従来型の不動産事業の縮小とヘルスケア事業への不動産事業資源の集中**
 - 2008年10月：久喜サリアビル売却
 - 2008年11月：日本中央地所とEMCOMヘルスケアの分社化による経営効率の向上

- **「超!!ネプリーグDS」市場投入によるゲーム事業の収益貢献**
 - 初回受注好調、クリスマス商戦へ最後の受注積み上げを徹底

- **FX事業のみではない、更なるビジネスの柱の検討**
 - M&Aの積極活用によるスピーディーな展開

2. 再建の方針と進捗状況

2-1. 金融事業

1. 進捗状況

2. 自社事業

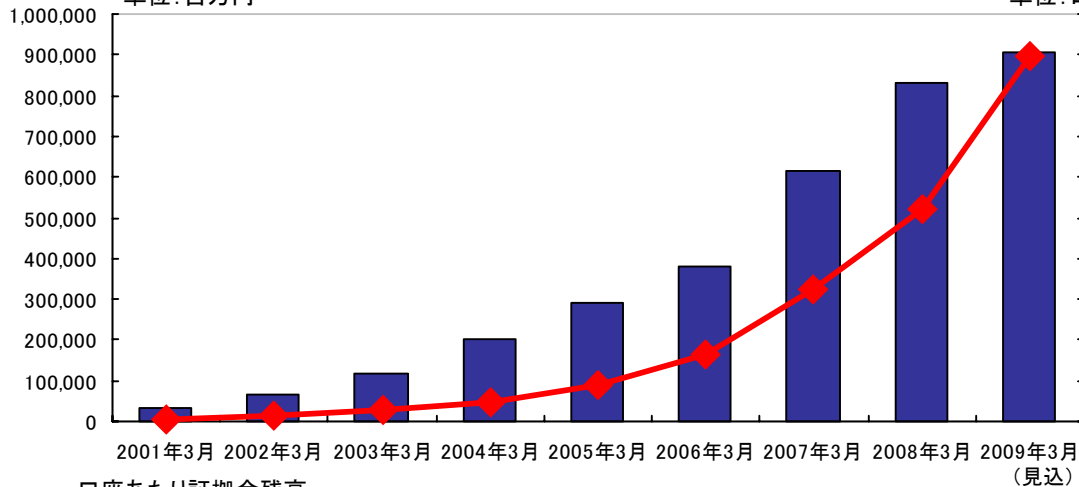
3. レベニューシェア型ASP

2-2. 不動産事業

2-3. ゲーム事業

FX事業を巡る市場環境1

証拠金残高(棒グラフ)
単位:百万円

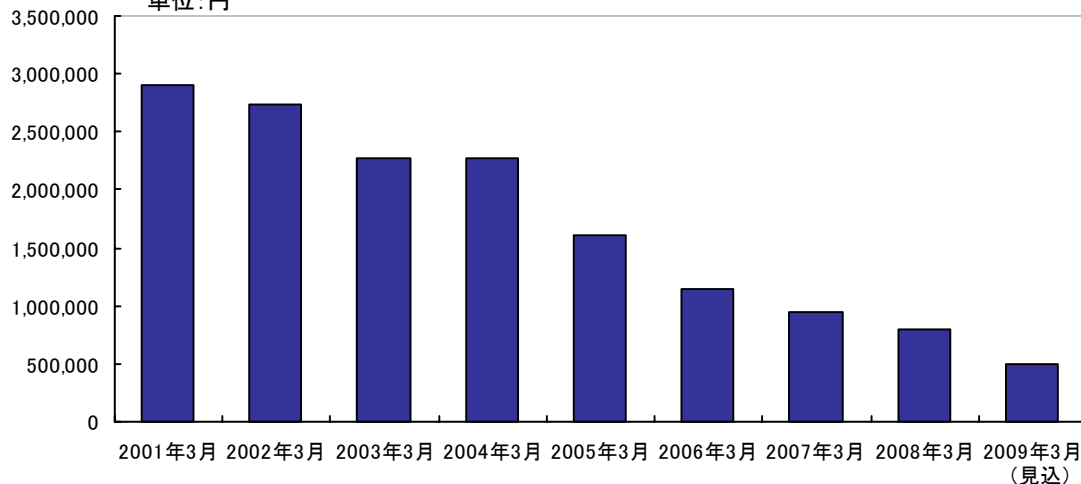


口座数(折線グラフ)
単位:口座

*: 矢野経済研究所調査(推計)より作成

- 口座数および証拠金残高共に
いまだ右肩上がり成長を堅持
- ネット証券口座数との比較において
依然として高い成長余地
- 低調な株式市場も更に追い風
- 短期的には大幅な相場の乱高下により
既存顧客の投資活性は大幅低下

口座あたり証拠金残高
単位:円

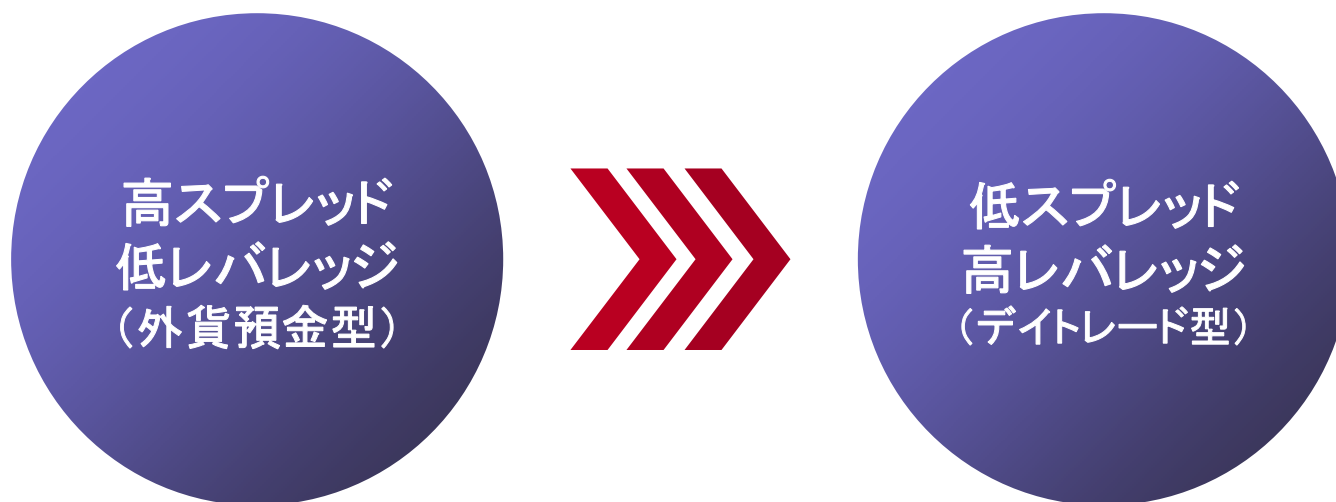


- 2005年3月期以降急速に口座
あたり証拠金残高が小口化
- 手数料無料化、狭いスプレッド、
高いレバレッジを活かしたアクティブな
取引利用者の裾野が拡大中
- 株取引の信用取引、先物経験者は
FX初心者であっても高リスク投資の
初心者ではない

市場は依然大幅に成長中 低スプレッド高レバレッジの第二世代サービスへの支持が急拡大

FX事業をめぐる市場環境

- オンライン証券からの顧客流入、投資資金の小口化等の現象は「外貨預金の代替としてのFX」の衰退と「効率的なデイトレードの手段としてのFX」の急成長を意味している



顧客の支持は低スプレッド・高レバレッジ型の第二世代サービスへ移行
取引は第二世代サービスに集中

FXビジネスの優勝劣敗がますます明確化
今後は、マーケティング力・レート配信力・システム処理能力
オペレーション能力に勝る数社の覇権争いが最終局面へ

2-1-1. 進捗状況（ファイナンス&テクノロジー）

- インターネットビジネスにおける高い技術力とマーケティング力を基盤として、自社グループ内でスピーディかつ自在にシステム開発出来る強みを活かし、高い市場成長の恩恵を最大限享受する事業の確立、「**グループでFX市場の取引額 No.1**」を目指す



パンタ・レイ証券の自社ブランド 「みんなのFX」の運営

■ 口座数(申込済/入金済)

2007年 12月末	7,815口座	5,700口座
2008年 3月末	9,874口座	7,080口座
2008年 6月末	14,764口座	10,514口座
2008年 9月末	21,907口座	15,492口座
2008年 10月末	24,167口座	16,911口座

⇒順調な口座拡大

■ 預かり証拠金残高

2007年 12月末	1,549百万円
2008年 3月末	2,002百万円
2008年 6月末	3,442百万円
2008年 9月末	3,029百万円 ※1
2008年 10月末	2,196百万円 ※2

※1: 9月29日～10月1日の業務停止の影響による証拠金残高の減少

※2: 10月上旬の大幅な相場の乱高下による証拠金残高の減少

■ パンタ・レイ証券「みんなのFX」の ブランチ(支店)展開

—ポータルとのブランチ提携

提携に向けた積極営業を展開

■ カスタマイズASP受託候補会社 数社に継続的に提案実施中

■ ITアプリケーションサービス (レベニューシェア型ASP)

EMCOMグループによるシステムASP提供

■ MJ社=勝ち組FXの代表

■ 口座数

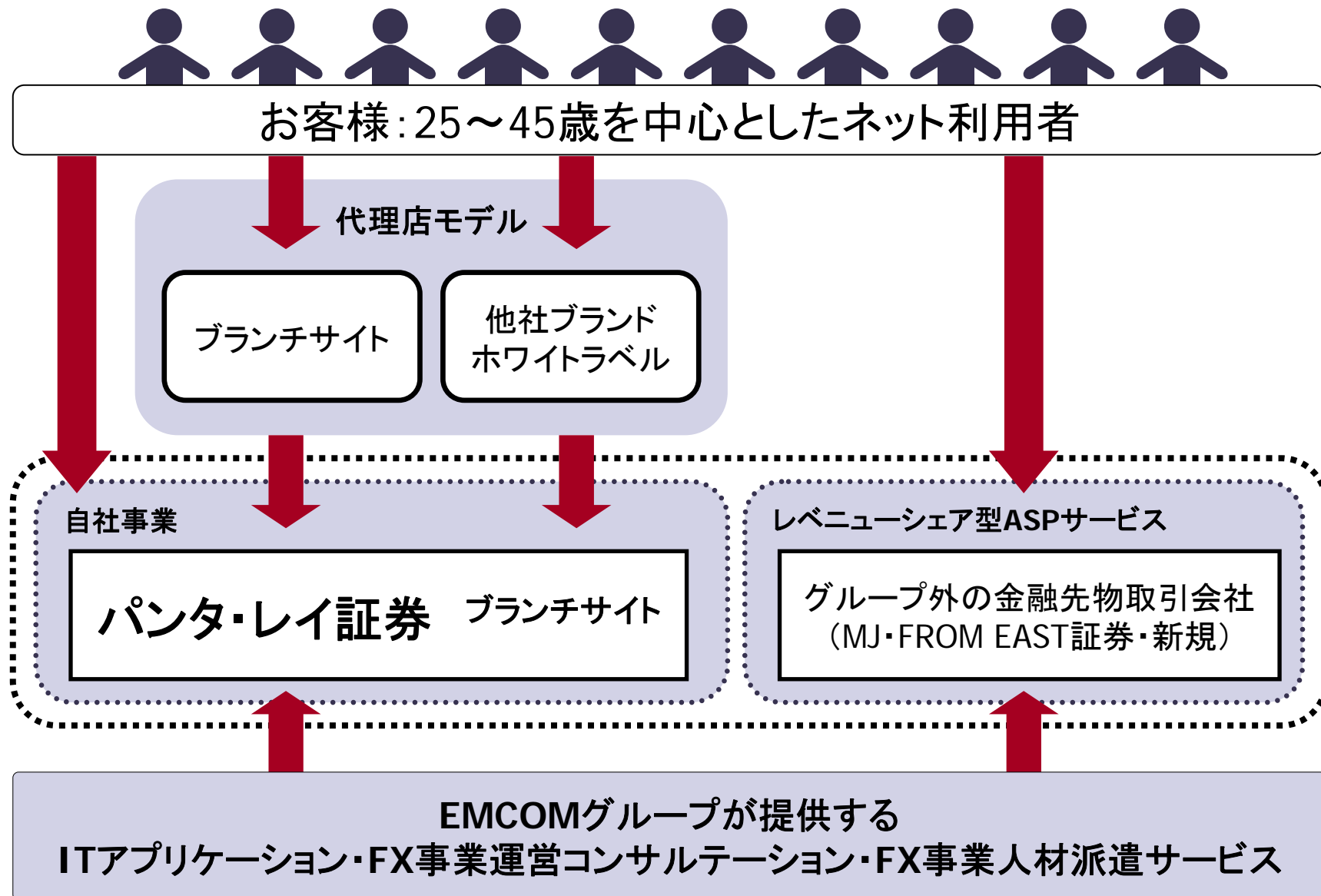
2007年 12月末	8,565口座
2008年 3月末	16,954口座
2008年 6月末	23,521口座
2008年 9月末	28,337口座
2008年 10月末	30,472口座

■ 預かり証拠金残高

2007年 12月末	2,376百万円
2008年 3月末	4,102百万円
2008年 6月末	7,319百万円
2008年 9月末	6,106百万円
2008年 10月末	4,357百万円

■ FROM EAST証券受託

2-1-2. 当社グループのFX事業展開例



2-1-2. 自社事業：顧客に支持されるパンタ・レイ証券のFXサービス

パンタ・レイ証券の強み

- 業界最高水準の取引条件
 - スプレッド：1銭～[強いレート配信力]
※12月よりドル円1銭固定配信開始
 - レバレッジ：1倍～400倍
- 最新技術による取引ツール
 - Ajax版取引ツール
 - 携帯アプリ版取引ツール
- アジャイルなテクノロジー対応力
 - 2週間に1度の機能/サービス追加

パンタ・レイ証券の狙いどころ

- ■ 第一世代プレイヤーは、旧来型ビジネス
(高スプ・低レバ)への依存が大きい
- ■ 煩雑な更新作業が必要な専用ソフト
インストール型や、ワンクリック取引も出来ない
低機能WEB画面が跋扈
- ■ 2バイト対応が苦手な融通の利かない
海外事業者からの輸入物多数



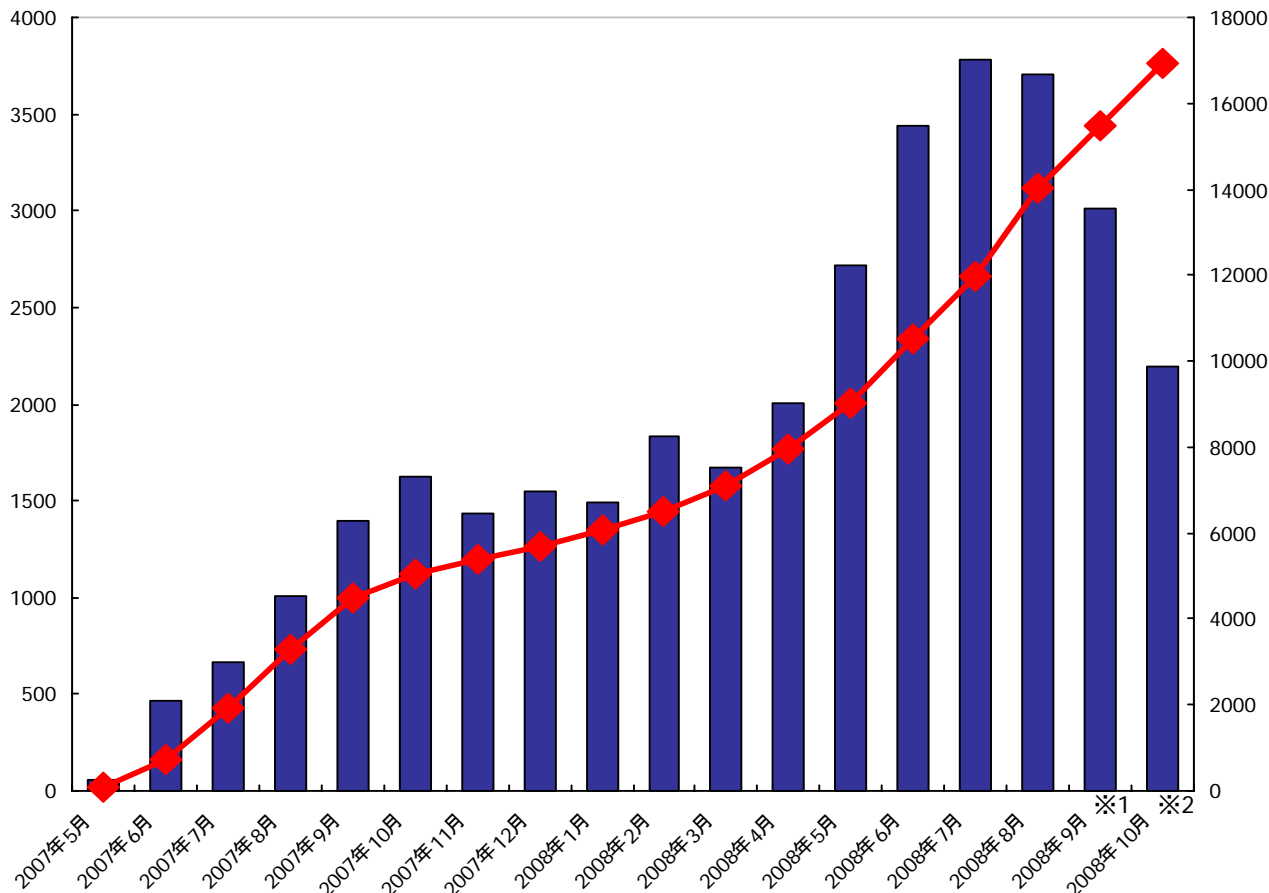
高い技術力が実現する強いレート配信力を背景に、
顧客の支持が強い低スプレッド・高レバレッジ型の第二世代サービスを提供
安定した顧客支持・口座数の伸びを維持

2-1-2. 自社事業：パンタ・レイ証券のFXサービス「みんなのFX」

■ 口座数・証拠金・取引高とも順調に伸展、勝ち組の一角に

証拠金残高(棒グラフ)
単位:百万円

入金済口座数(折線グラフ)
単位:口座



- 相場要因による預かり残高低下に対応するべく積極マーケティング施策展開を一層強化
- 口座開設、初回取引キャッシュバックキャンペーンさらに500Lot取引で5,000円追加キャンペーン
- 55,000Lot取引実施者にキャッシュバックキャンペーン
- 0.9Pip固定配信キャンペーン
- 小数点以下3桁化対応



- USD/JPY 1Pip固定化(12/1より)
- 他通貨キャンペーンの継続実施

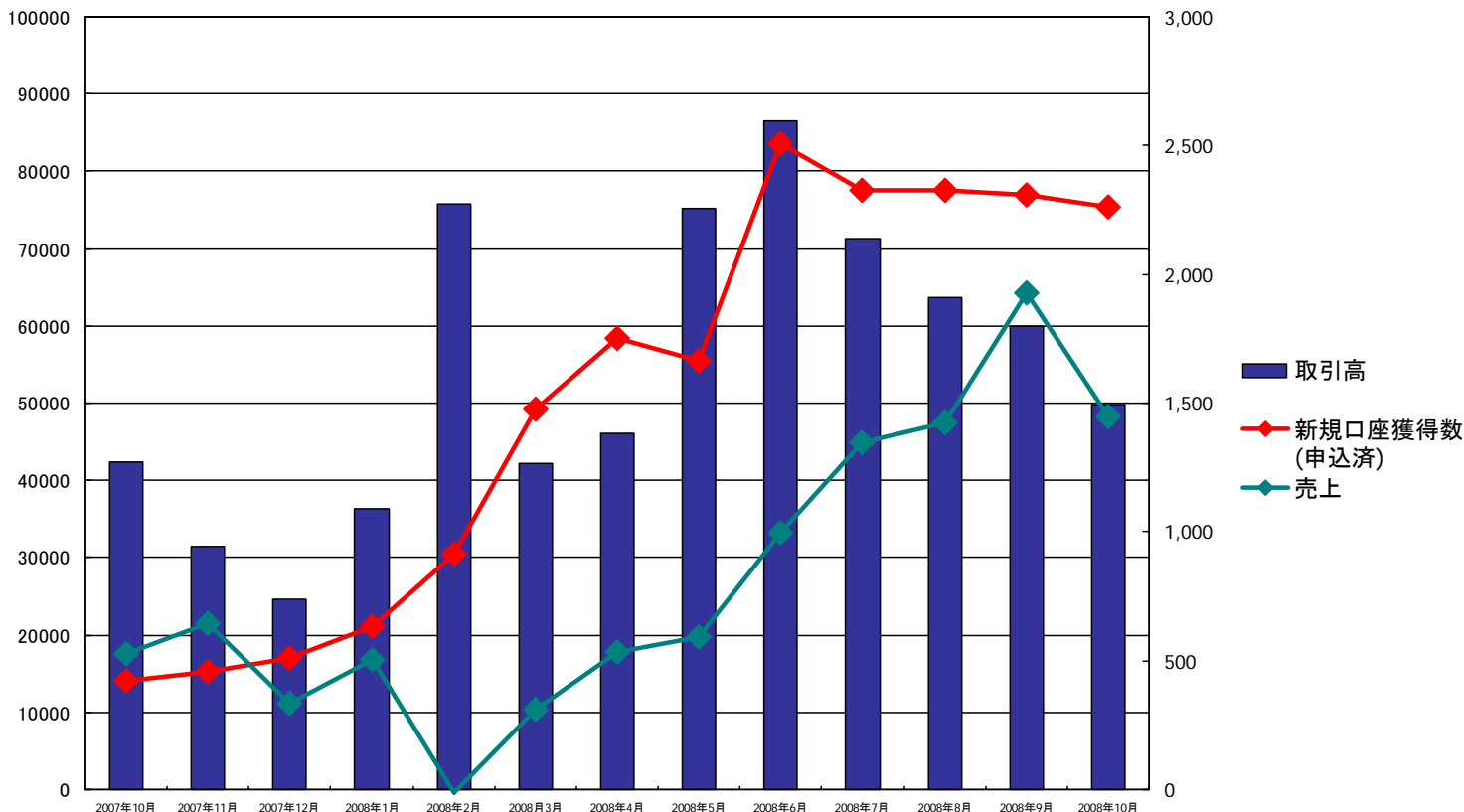
※1: 9月29日～10月1日の業務停止の影響による証拠金残高の減少

※2: 10月上旬の大幅な相場の乱高下による証拠金残高の減少

2-1-2. 自社事業：パンタ・レイ証券のFXサービス 事業指標

取引高(棒グラフ) 売上高(折線グラフ緑)
単位: Lot 単位: 万円

新規獲得口座数(折線グラフ赤)
単位: 口座



- 2008年3月からオペレーション体制刷新により、安定的な売上を確保
- 2008年10月は相場の乱高下により顧客取引活性が大幅低下
- 新規口座獲得数はサービスメニューへの顧客支持を背景に、安定的に推移

2-1-2. 高い技術力によるスピード感ある機能拡充

■ 2008年第3四半期(7-9月)の機能・サービス追加

- Flash版取引画面のチャート機能
 - ▶ チャートグラフの種類選択
 - ▶ 指値価格や約定価格の表示
 - ▶ 表示時間の設定
- オンラインセミナー開催
 - ▶ 講師 マット今井氏
- ニュースソースの拡充
 - ▶ GI24のニュースリアルタイム配信を開始

■ 2008年10月以降の機能追加(予定)

- USD/JPYスプレッド原則1Pip固定提供
- モバイル専用取引アプリの提供
- リアルタイムチャット機能の追加
 - ▶ 利用者限定で利用可能なチャット機能
- 処理能力を飛躍的に拡大させる新システムの投入



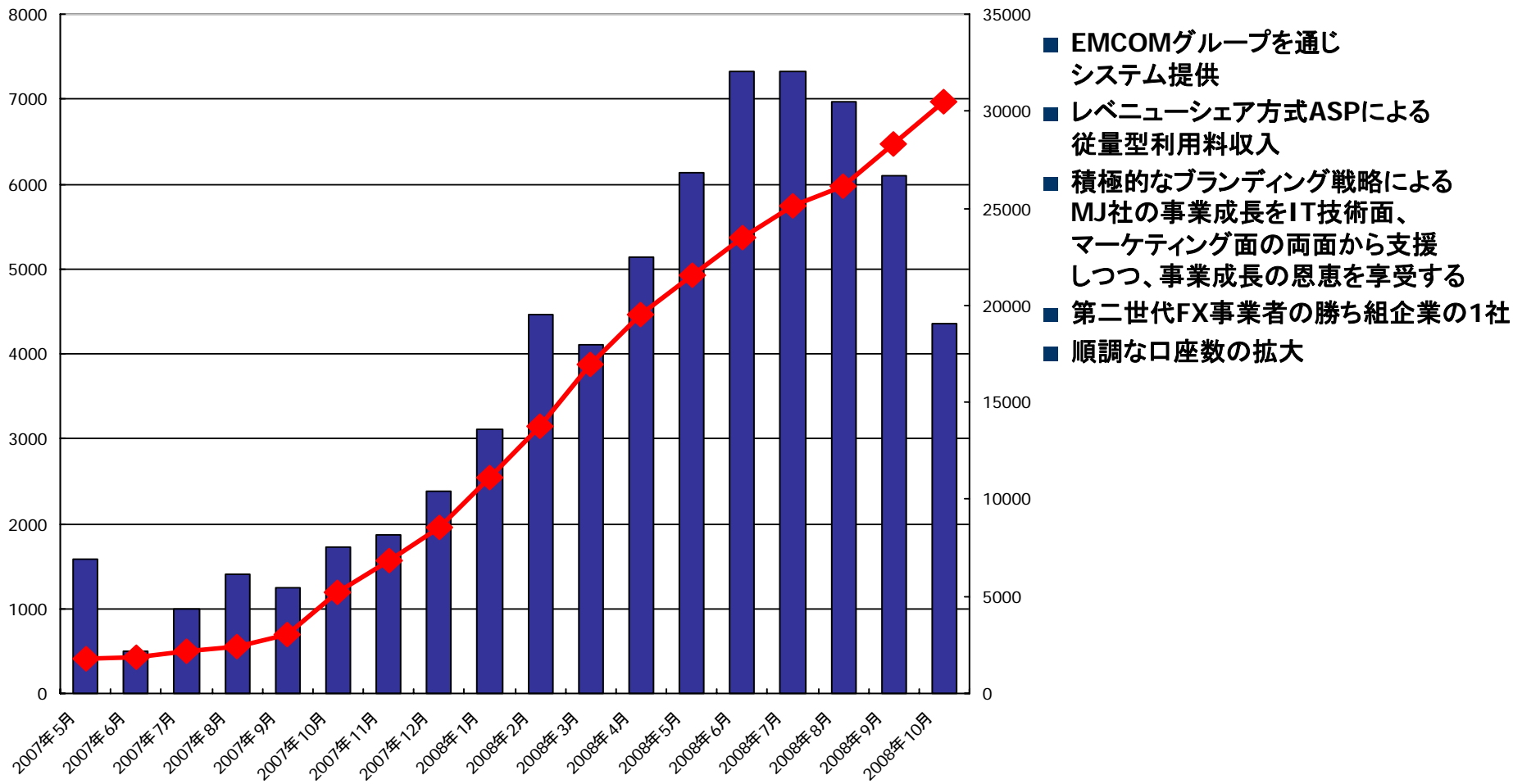
▲ ウィジェット新機能 テスト中

グループ内にシステム開発会社を保有する強みを活かし、
2週間毎に大きな機能追加と細かい利便性向上を継続的に実施

2-1-3. レベニューシェア型ASP : MJ (Spot Board)

証拠金残高(棒グラフ)
単位:百万円

口座数(折線グラフ)
単位:口座



2-2. 不動産事業

- 2008年度第3四半期までに全てのマンション事業資産の処分を完了
 - セントラルコート船橋習志野台 (76戸) : 2008年7月売却終了
 - セントラルコート大和深見西 (66戸) : 2008年9月売却終了

- 2008年10月に久喜サリアビル売却、主要な販売用不動産の処分を完了

- 安定したインカムゲインを確保しているヘルスケア事業に不動産事業の経営資源を集中投下するために日本中央地所とEMCOMヘルスケアを分離、事業人員を大幅削減

2-3. ゲーム事業

- 2008年度第3四半期に新規発売された「でんじろう先生の不思議な実験室」の販売不振による赤字計上継続
- 2008年12月4日発売予定の「超!!ネプリーグDS」の先行受注状況は好調、クリスマス商戦に向けた最後の積み上げを徹底
- 今後はファミリー層を中心としたマスメディア連動型ファミリーゲームタイトル及びゲームヘビーユーザーを対象としたRPGを中心とする本格的な”やり込みゲーム”の開発に事業ドメインを限定、安定した事業運営を展開する
- インターネット・携帯電話・Wii・リアルイベント等を駆使した多様な手段による顧客との対話を通じた「顧客と共に創る」ゲーム開発体制の確立

3. FXビジネス今後の展開

3-1. ブランチ構想 カスタムASP展開

3-2. その他構想

ジャレコグループのFX事業強化戦略

- FXビジネスを「取扱社数の拡大」、「顧客数の拡大」、「取引量の拡大」の3方面より立体的に強化

取扱社数の拡大

- 資本業務提携を積極活用したグループFX事業社数の拡大
- M&A仲介を活用したレベニューシェア型ASPサービス提供
顧客数の拡大

顧客数の拡大

- 新規顧客獲得でマーケティングの徹底強化
 - 現状の1,500~2,000件/月を3,000~5,000件/月の水準へ(入金済)
- 「低スプレッド(1Pip固定)」、「高レバレッジ(400倍)」と「高い技術力に裏打ちされた安心と信頼のシステム」の相乗効果によるブランドの確立
- アクティブ口座獲得系キャンペーンの徹底投入

- 1Pip固定配信の実行による顧客取引活性の増強
- 「先進」、「使いやすい」ツールの提供による顧客利便性の向上
- 「ダウンしない」大量トランザクションをさばくシステムの提供による顧客信頼性の向上
- 積極的な取引活性化系キャンペーンの徹底投入

取引量の拡大

3-1. ジャレコグループのFX事業取組み

	パンタ・レイ証券の事業領域		EMCOMの事業領域	
	自社事業	ブランチ	ホワイトラベル	カスタマイズASP
ブランド/ マーケティング	●	◐	○	○
オペレーション	●	●	◐	○
システム	●	●	●	●

パンタ・レイ証券
「みんなのFX」に
よる顧客開拓

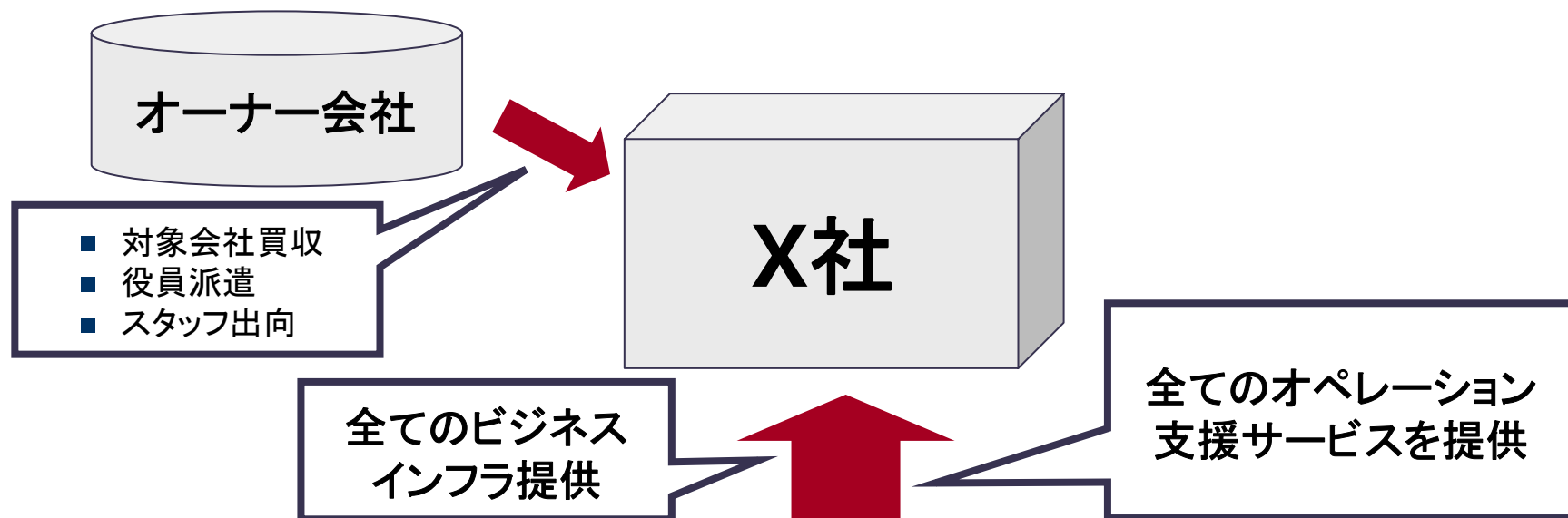
ポータルサイトとの
提携開拓

金先事業者との
提携開拓
パンタ・レイ証券に
よるCP受託含む

金先事業者の
受託開拓

3-1. FXサービスの総合アウトソーシングカンパニー

■ MA仲介組合せでのカスタムASP展開



EMCOMグループ:

システムASP

マーケティング代行
(口座獲得代行)

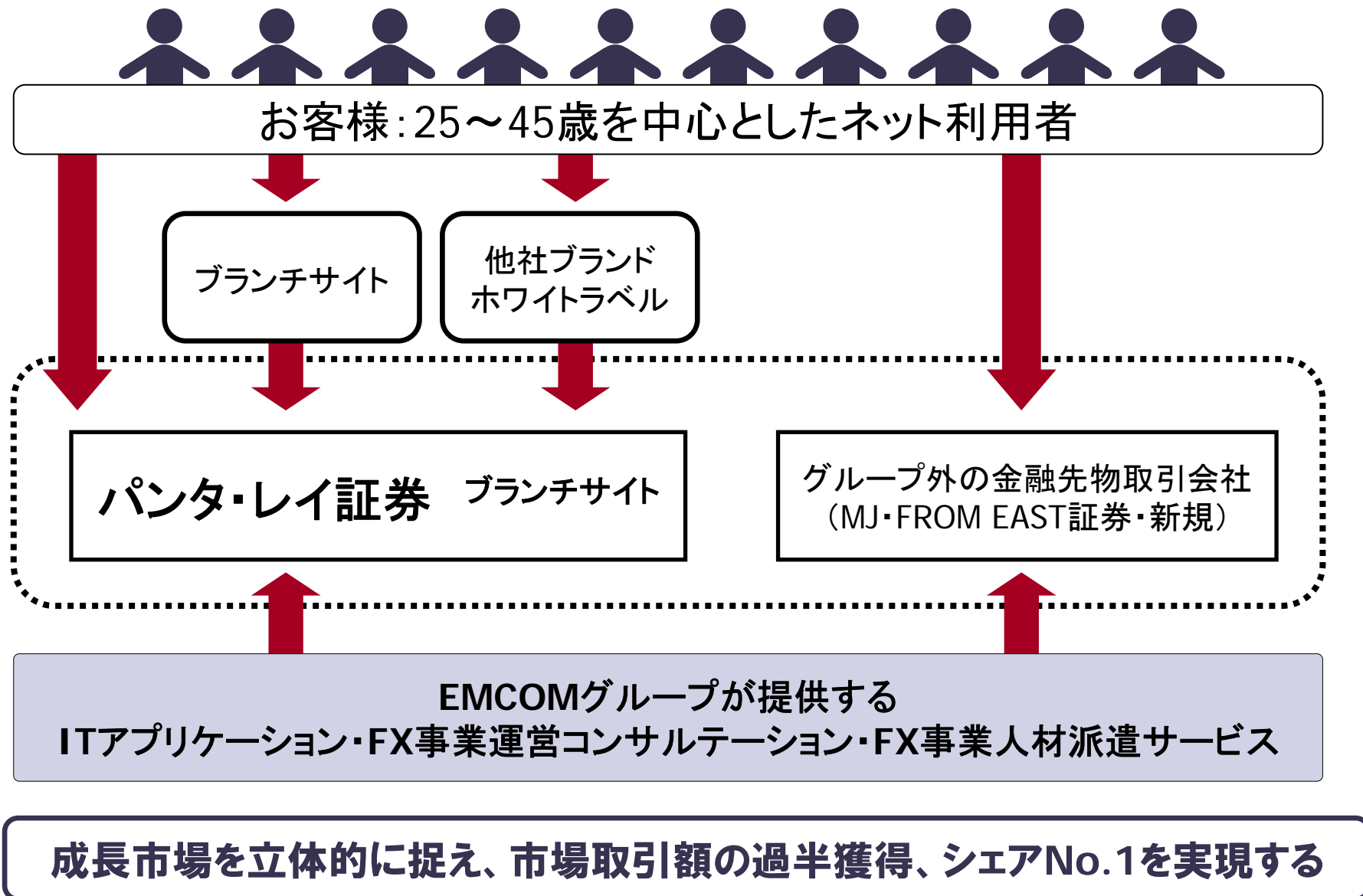
Dealer派遣

CS派遣

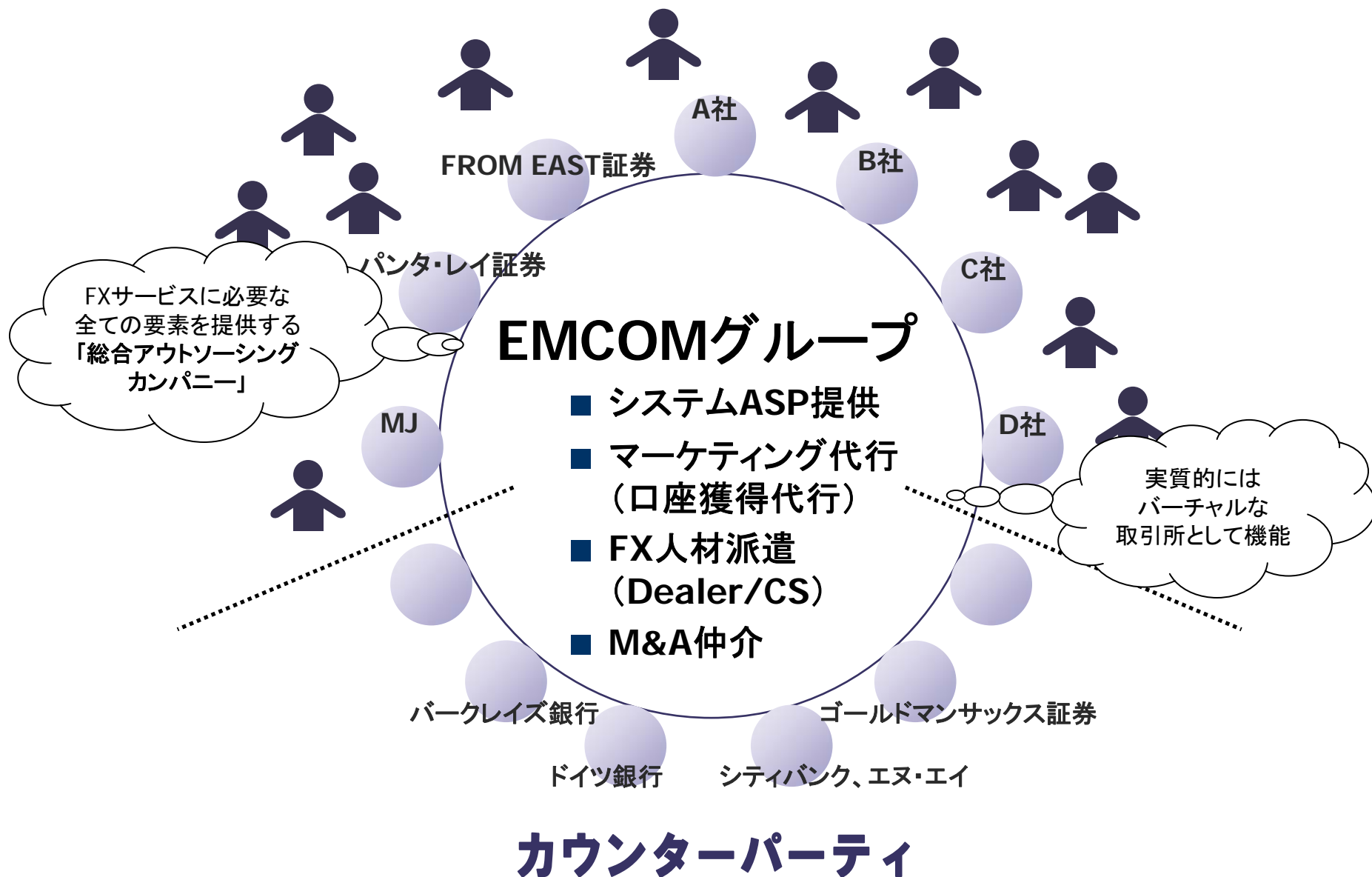
M&A仲介

FXサービス立ち上げに必要な全ての要素を
ファシリテーション

3-2. 短期的ビジョン グループを經由するFX取引額シェア50%を目指す



3-2. 長期的ビジョン FXサービスの総合アウトソーシングカンパニーとして



免責事項

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスクおよび不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。

かかるリスクおよび不確実性には、市場リスク、日本円と外貨との為替レートの変動、その他当社グループの事業を取り巻く様々なリスクおよび当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社ジャレコ・ホールディングに属します。